



2010年3月期 決算説明会

富士機械製造株式会社

May. 2010

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

■ 業績説明

■ 事業方針



連結業績

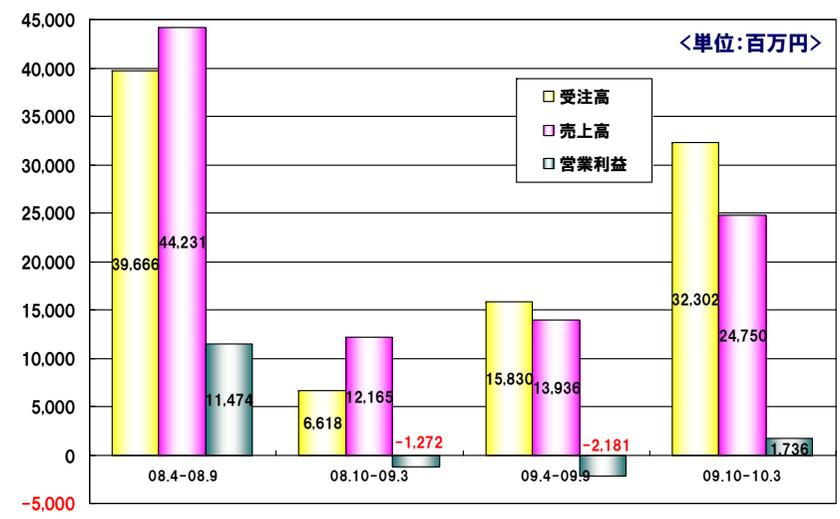
連結業績実績

(単位:百万円)	08.4-09.3 実績	09.4-10.3 予想 (2月9日)	09.4-10.3 実績	対前期 増減率	対予想 増減率
売上高	69,485	40,000	41,747	△39.9%	4.4%
営業利益	5,229	△7,200	△6,212	—	—
営業利益率	7.5%	△18.0%	△14.9%	—	—
経常利益	6,118	△7,000	△5,842	—	—
当期純利益	1,001	△7,500	△4,828	—	—
一株当たり 当期純利益	20.49円	△153.42円	△98.78円		
一株当たり 配当金	30.00円	20.00円	20.00円		

連結業績

電子部品組立機事業

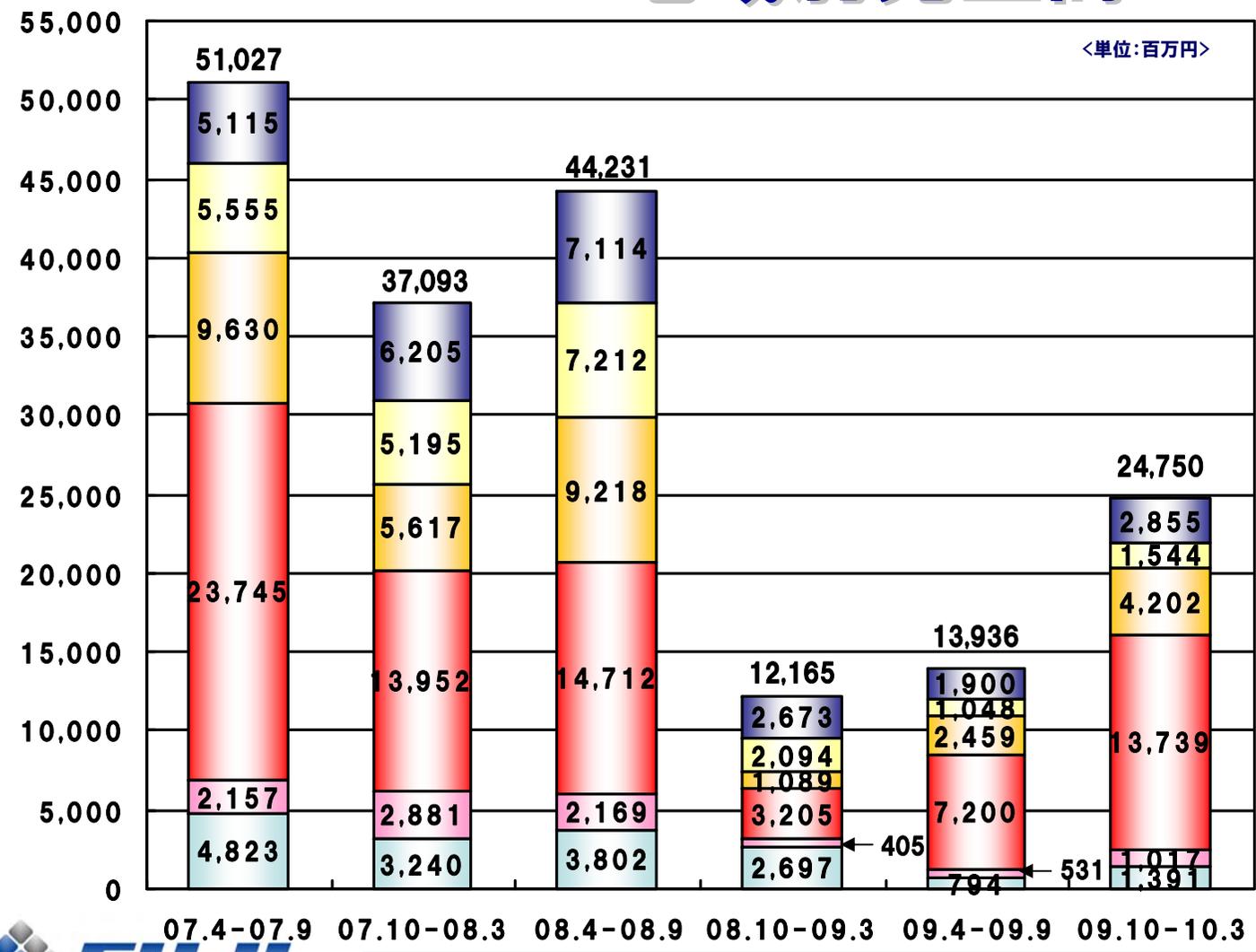
(単位:百万円)	08.4 -09.3	09.4 -09.9	09.10 -10.3	09.4 -10.3	対前期 増減率
受注高	46,284	15,830	32,302	48,132	4.0%
売上高	56,397	13,936	24,750	38,687	△31.4%
営業利益	10,201	△2,181	1,736	△444	—
営業利益率	18.1%	△15.7%	7.0%	△1.2%	—



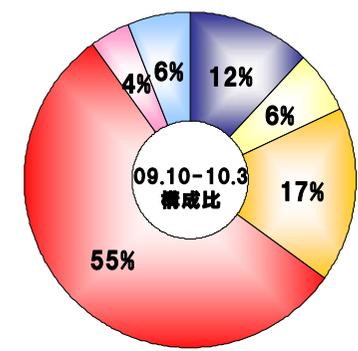
NXT III

連結業績

電子部品組立機事業 地域別売上高

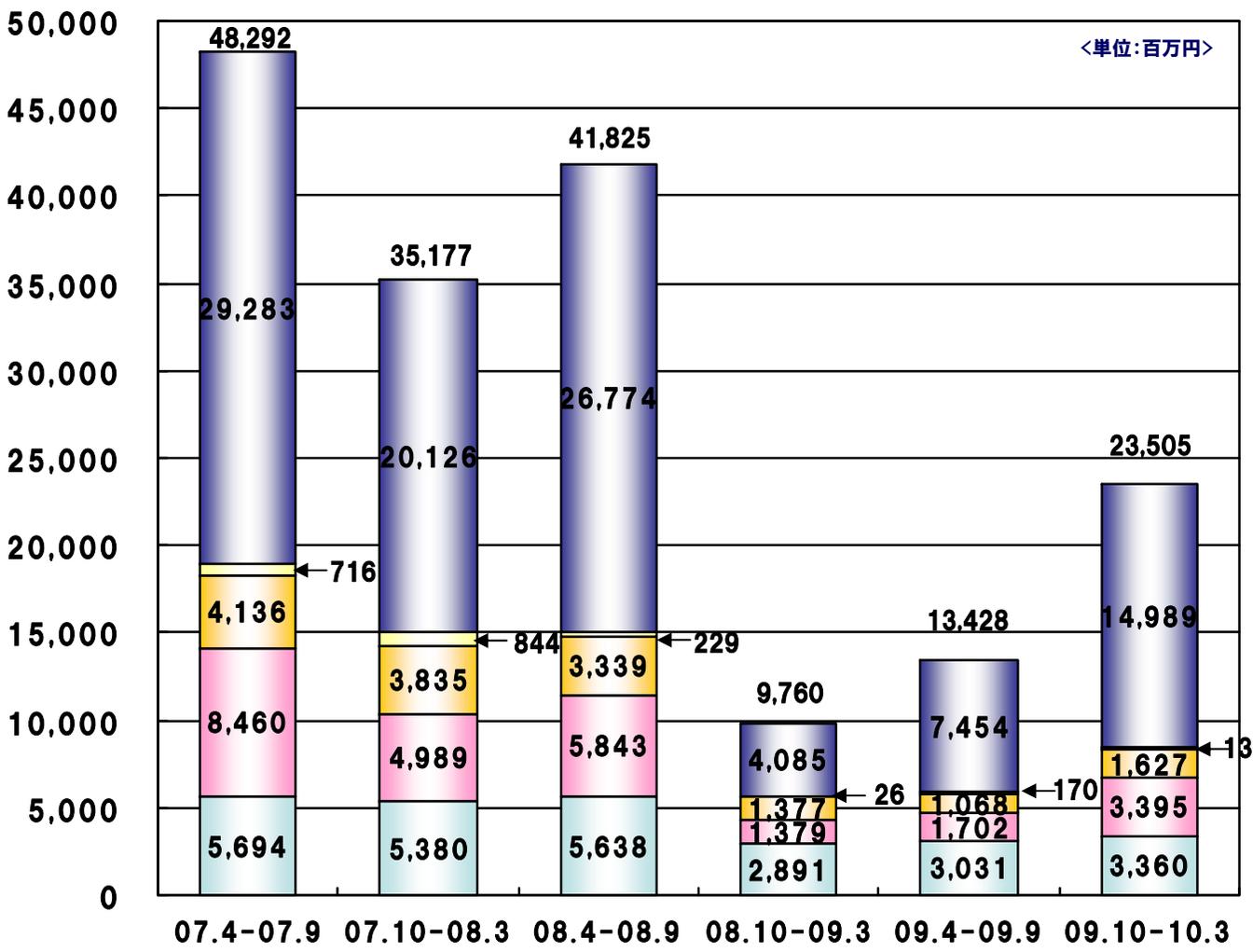


- 北アメリカ
- ヨーロッパ
- アジア
- 中国
- その他
- 国内



電子部品組立機事業 機種別売上高

単体業績



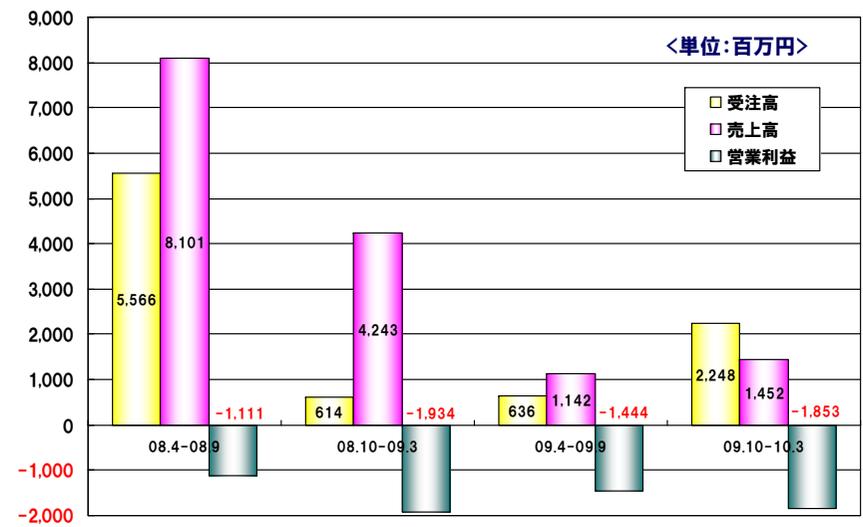
- 高速装着機 NXT・CP
- 汎用装着機 AIM
- 中型装着機 XPシリーズ
- 関連機器
- 部品・改造修理等



連結業績

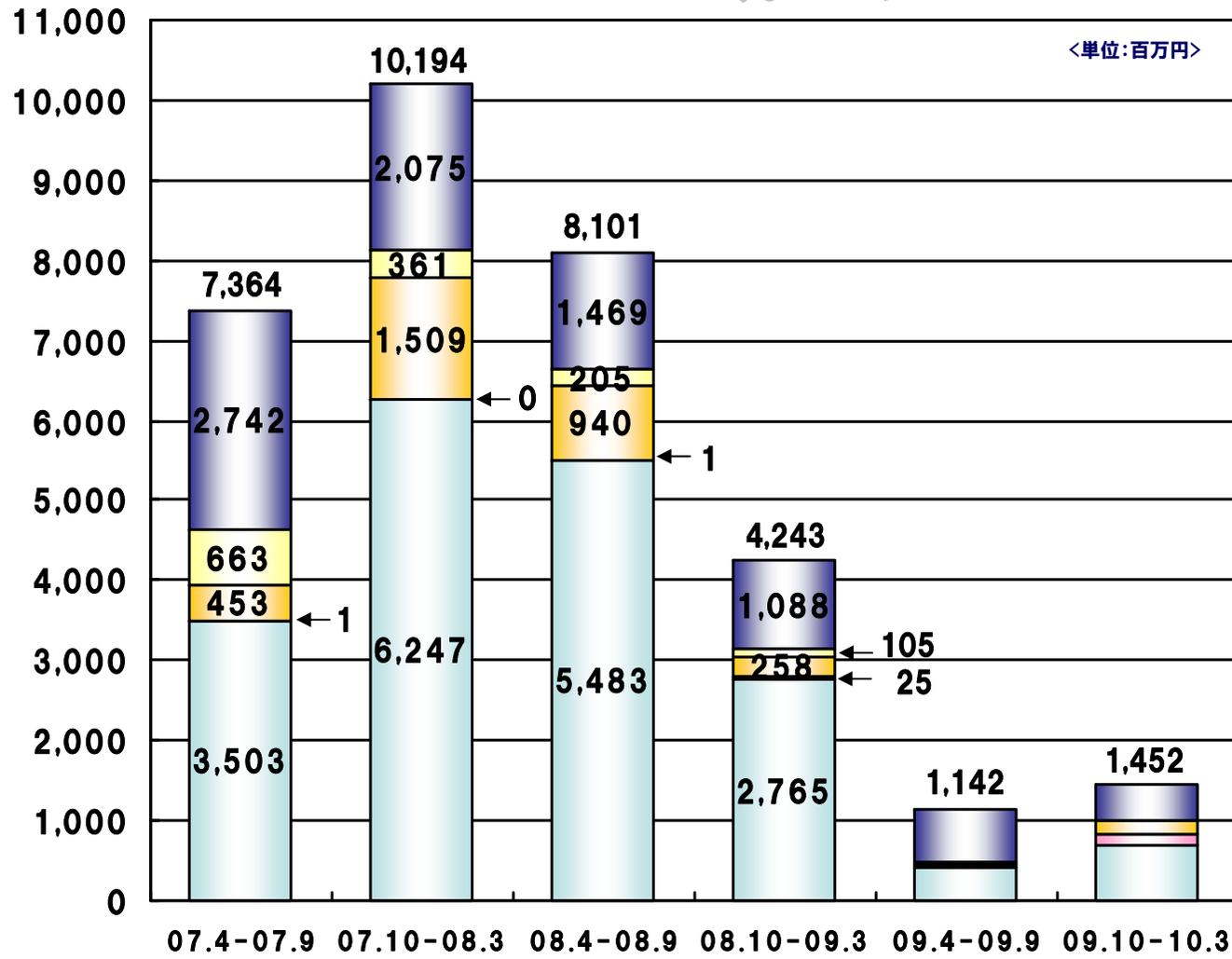
工作機械事業

(単位:百万円)	08.4 -09.3	09.4 -09.9	09.10 -10.3	09.4 -10.3	対前期 増減率
受注高	6,181	636	2,248	2,884	△53.3%
売上高	12,344	1,142	1,452	2,594	△79.0%
営業利益	△3,045	△1,444	△1,853	△3,298	—
営業利益率	△24.7%	△126.4%	△127.7%	△127.1%	—



連結業績

工作機械事業 地域別売上高

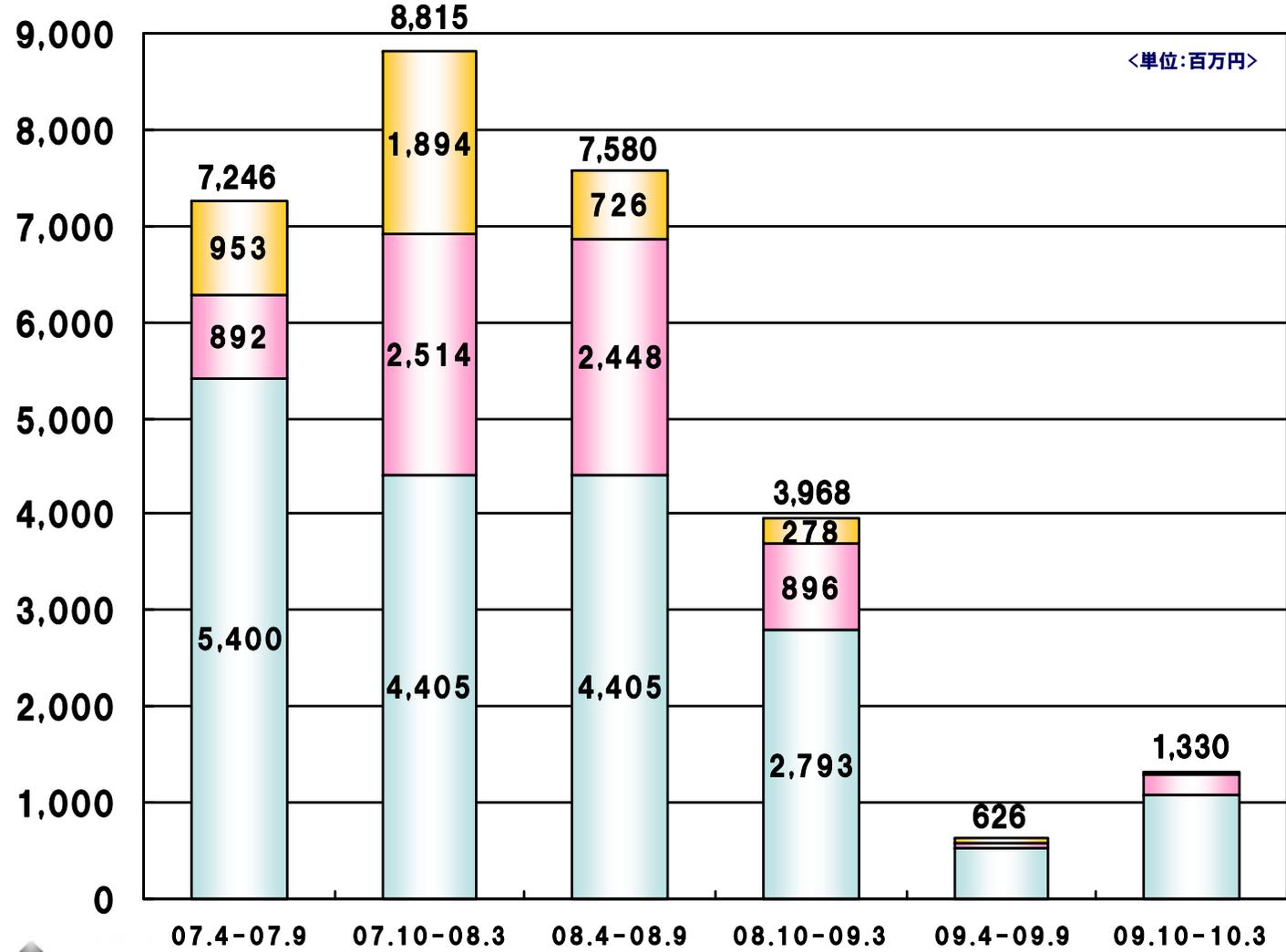


- 北アメリカ
- ヨーロッパ
- アジア
- その他
- 国内

内訳	09.4-09.9	09.10-10.3
北アメリカ	667	441
ヨーロッパ	26	5
アジア	17	185
その他	3	110
国内	428	709
合計	1,142	1,452

単体業績

工作機械事業 主要ユーザー別売上高



トヨタ自動車
トヨタグループ
その他

内訳	09.4-09.9	09.10-10.3
トヨタ自動車	37	42
トヨタグループ	87	215
その他	501	1,072
合計	626	1,330



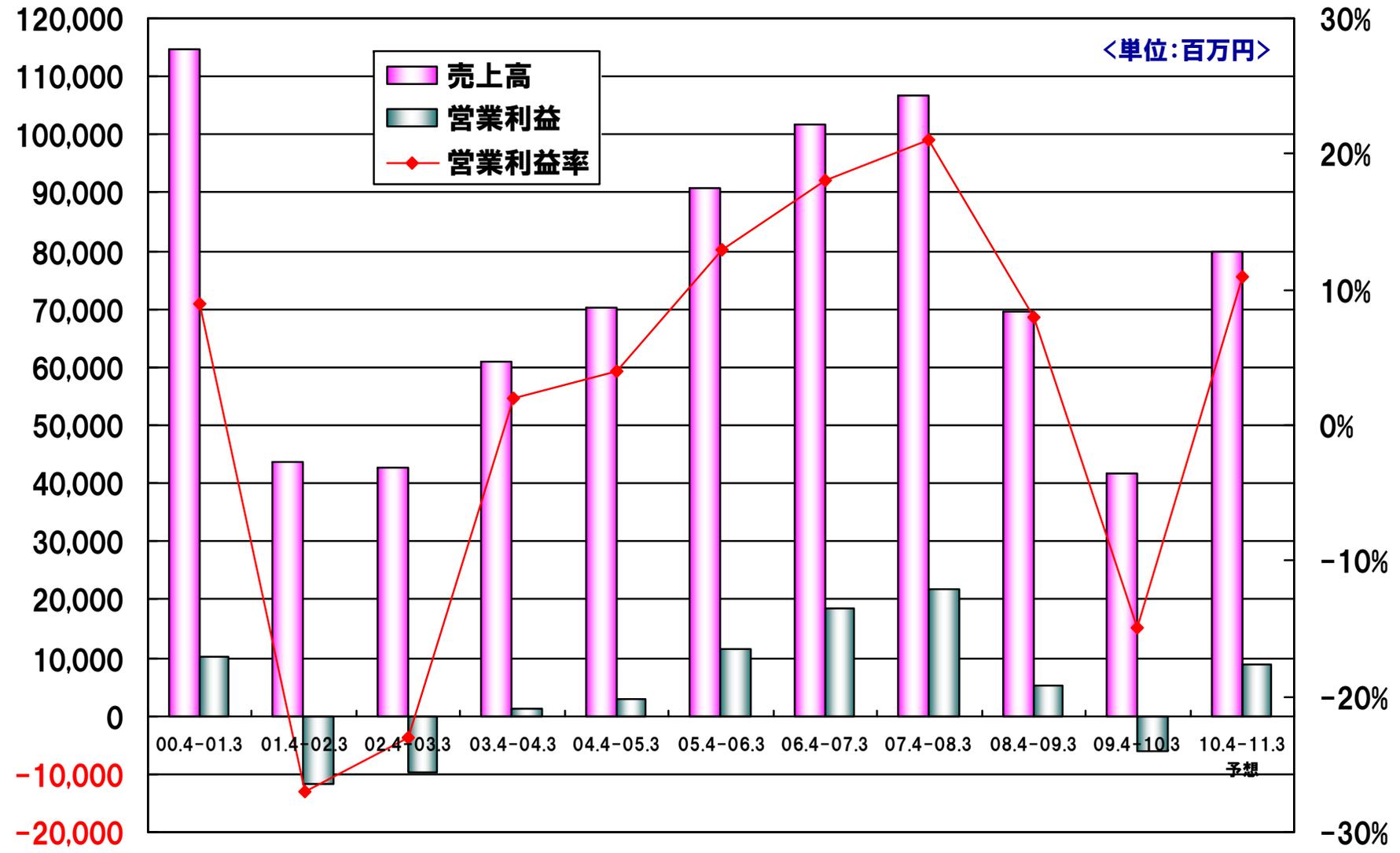
業績予想

連結業績予想

(単位:百万円)	09.4-10.3	10.4-10.9 予想 (5月13日)	10.4-11.3 予想 (5月13日)	対前期 増減率
売上高	41,747	42,000	80,000	91.6%
営業利益	△6,212	5,100	9,000	—
営業利益率	△14.9%	12.1%	11.3%	—
経常利益	△5,842	5,200	9,100	—
当期純利益	△4,828	3,100	6,000	—
一株当たり 当期純利益	△98.78円	63.42円	122.74円	
一株当たり 配当金	20.00円	12.50円	25.00円	

業績予想

連結売上高・営業利益推移



業績予想

連結事業セグメント

受注高

売上高

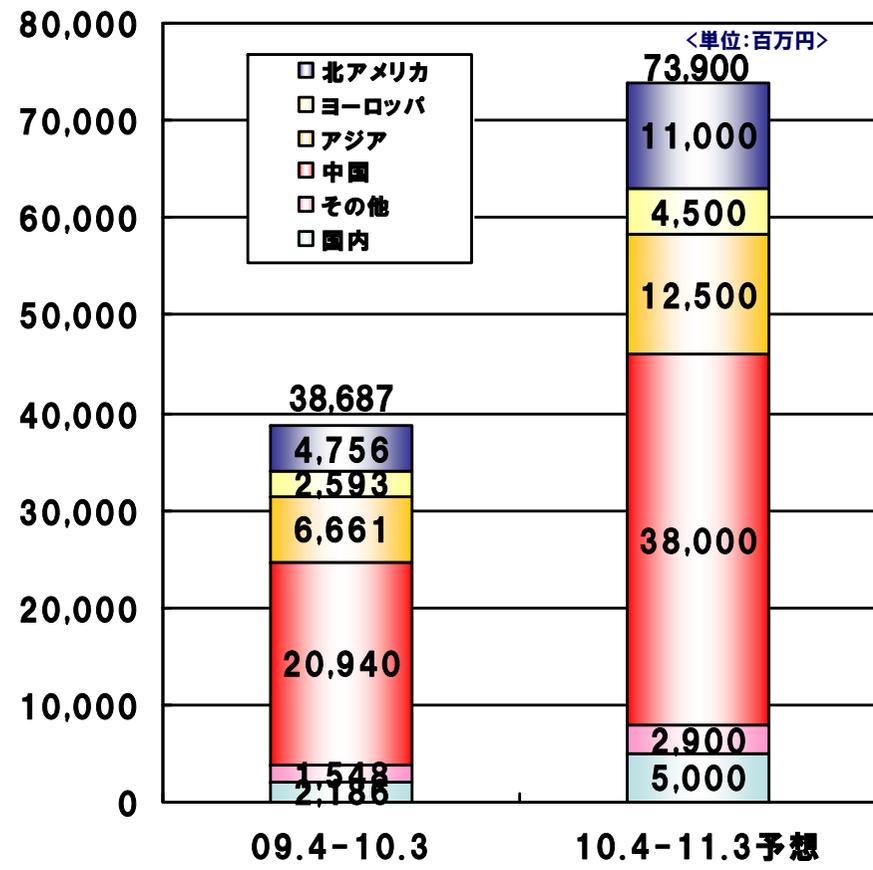
受注残高

(単位:百万円)	受注高			売上高			受注残高		
	09.4 -10.3	10.4 -11.3 予想	対前期 増減率	09.4 -10.3	10.4 -11.3 予想	対前期 増減率	10.3	11.3 予想	対前期 増減率
電子部品組立機	48,132	71,000	47.5%	38,687	73,900	91.0%	10,543	7,643	△27.5%
工作機械	2,884	6,400	121.9%	2,594	5,500	112.0%	1,868	2,768	48.2%
その他	492	600	21.8%	465	600	28.9%	88	88	—
合計	51,509	78,000	51.4%	41,747	80,000	91.6%	12,501	10,501	△16.0%

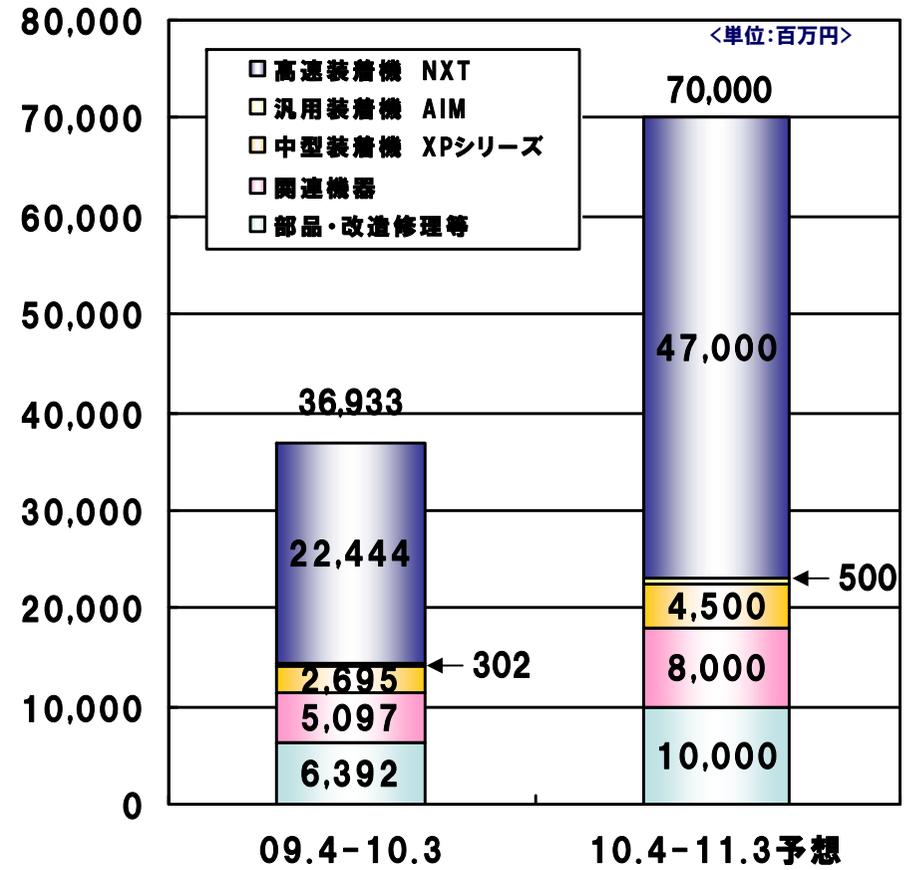
業績予想

電子部品組立機事業

地域別売上高(連結)



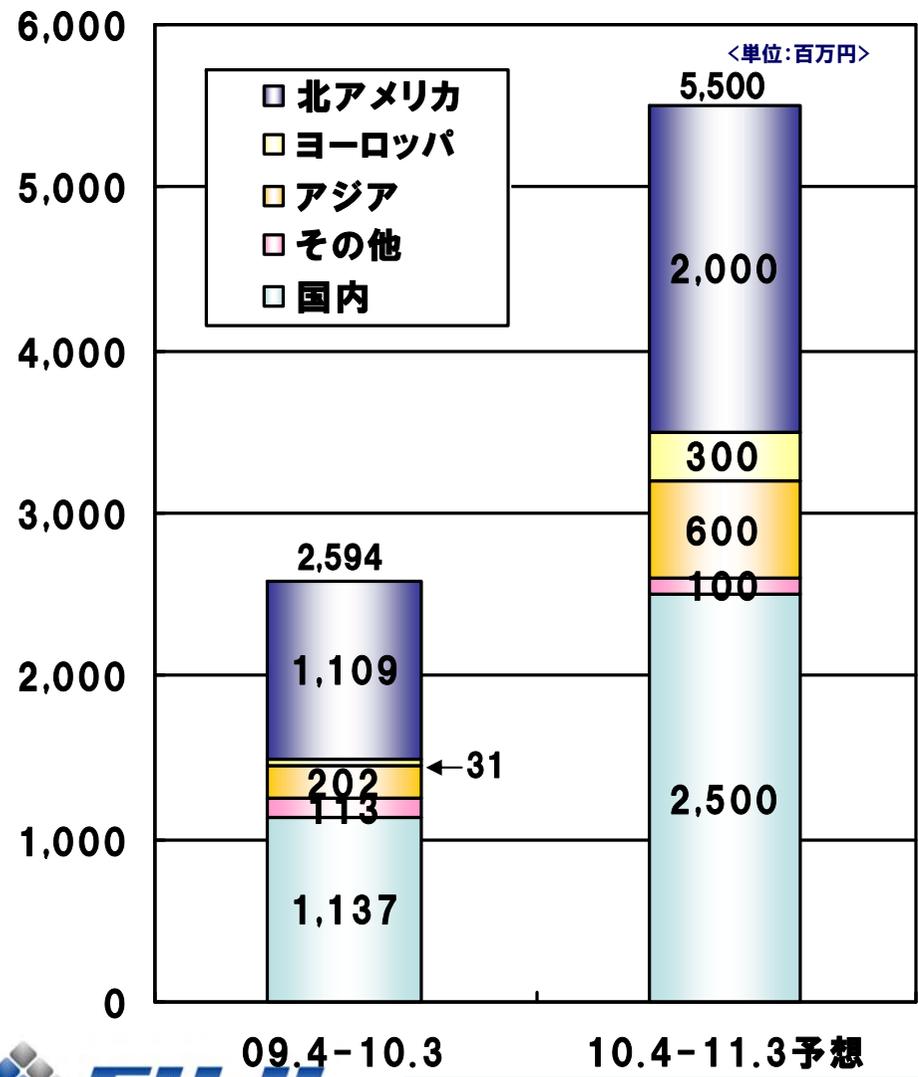
機種別売上高(単体)



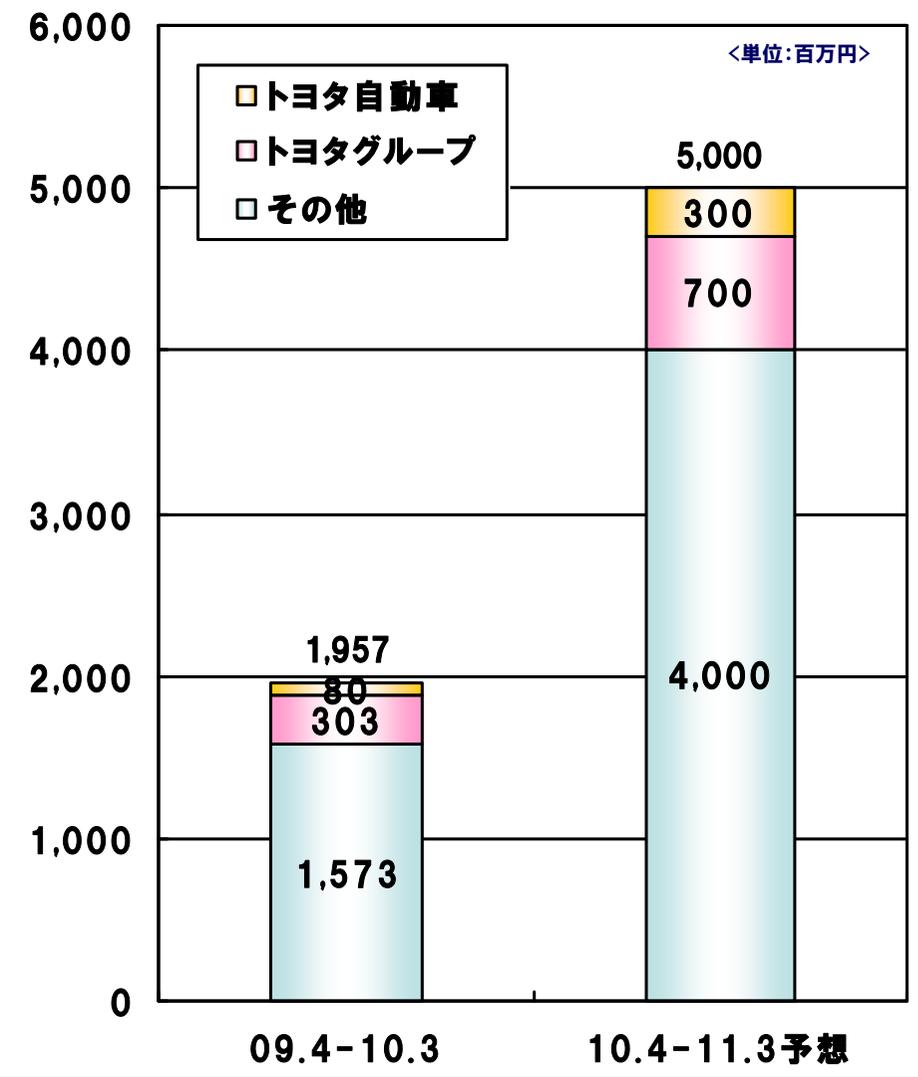
業績予想

工作機械事業

地域別売上高(連結)

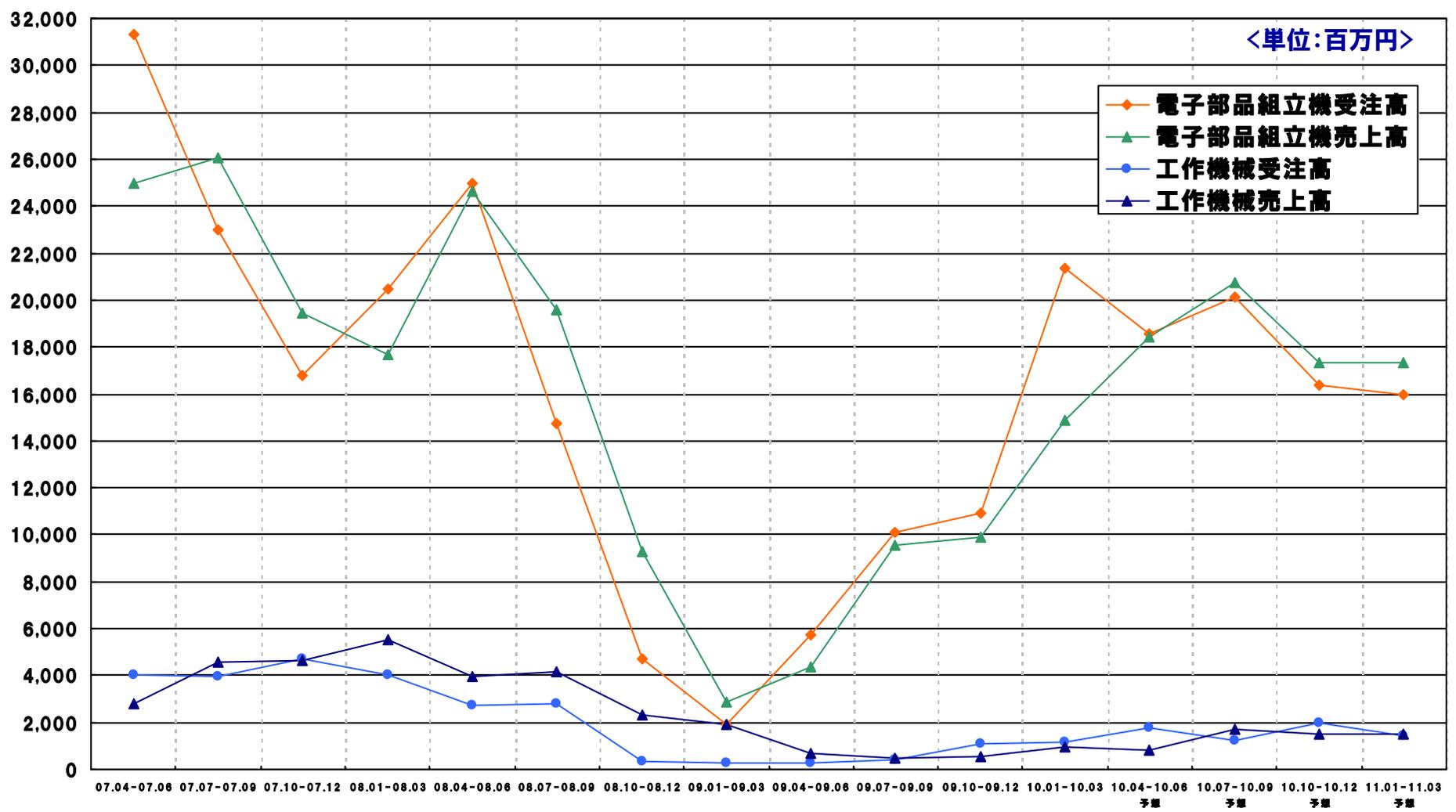


主要ユーザー別売上高(単体)



業績予想

四半期別連結受注高・売上高



■ 業績説明

■ 事業方針



経営基本方針

《スローガン》
NEO FUJI ー新たななるチャレンジャー

収益性の向上および安定化に向けて

電子部品組立機事業

コア事業の拡充

- ・製品競争力強化、次世代製品開発
- ・開発マネジメント強化、グローバル営業強化
- ・量的変動への迅速な対応

工作機械事業

抜本的な収益構造改革

- ・事業構造の適正化による収益性確保
- ・新製品・高付加価値機種種の市場投入

新規事業開発の推進加速 技術開発センター

- ・成長市場に向けた迅速な商品化、事業化
- ・次世代技術の探求、要素技術開発

全社

- 内外調達先の一層の品質・納期の確保とコストダウン
- 経費の徹底した削減
- 人材の育成

電子部品組立機事業

事業部方針

『GLOBAL30』開発・営業・生産の三位一体による革新と継続

事業環境

■世界経済の持ち直しを背景にマウンター需要の急回復

- ▶ 市場規模: 2009年度1,400億円(上期 500億円、下期 900億円)
2010年度2,400億円(上期1,300億円、下期1,100億円)
と大幅増加見込み
- ▶ 短期展望: エレクトロニクス製品市場の堅調な需要
 - ⇒ 半導体需要の回復
 - ⇒ 凍結設備投資の急激な立ち上がり
 - 中国を中心に市場形成
 - ・ 3Gライセンス発行等による通信インフラ、携帯端末の需要増加
 - ・ 農村地域への家電製品普及政策の効果持続
- ▶ 中期展望: 需要は急回復から季節的変動へシフト
 - ⇒ 市場の量的質的变化への迅速かつ柔軟な対応
(技術面: 混載実装の増加、顧客面: 低価格志向の高まり、
ダブルスタンダード化、中国の輸出依存から内需主導へ)

■懸念材料

- ▶ マクロ経済: 金融不安、信用収縮、デフレ等による下振れ
- ▶ マウンター業界: 価格競争の熾烈化、原材料不足・値上がり

電子部品組立機事業

事業戦略

営業

- ▶ 市場開発・新規ユーザーの獲得、マーケットシェアの向上
- ▶ 販売網の強化、代理店の育成
- ▶ ユーザーの生産性向上支援

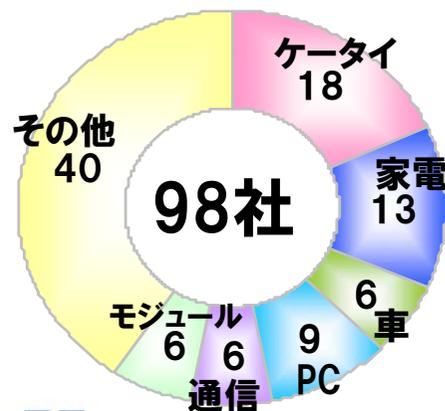
開発

- ▶ 製品競争力強化、次世代製品開発
- ▶ トータルソリューションビジネスの拡充

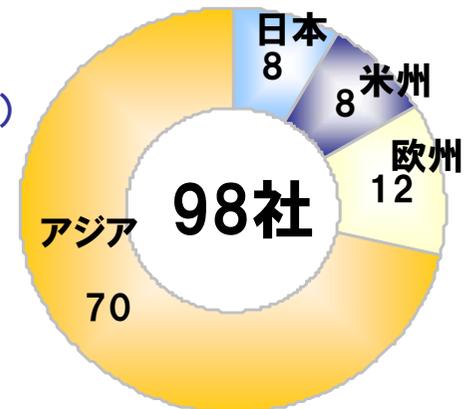
生産

- ▶ VEの強化とコストの徹底検証によるコストダウン
- ▶ 景気変動への俊敏なる対応
- ▶ 世界最適地調達の推進

～現時点では一部調達部材が逼迫：重点課題～



新規獲得顧客
(含 既存顧客新Div)
2009年度



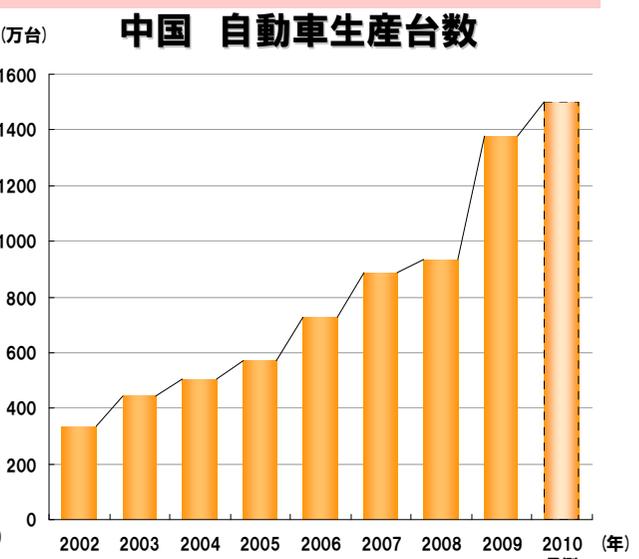
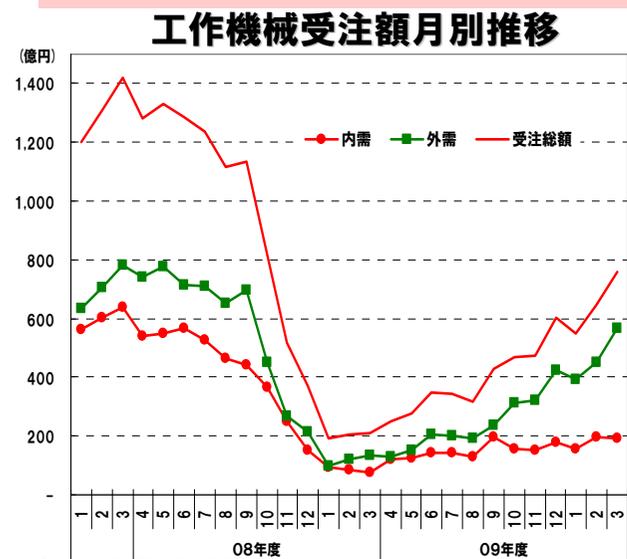
工作機械事業

事業部方針

利益確保に向けた構造改革

事業環境・戦略

- **最悪期を脱しつつある工作機械業界**
 - ➔ 中国を中心とする新興国需要の持続的成長
 - ➔ 日本工作機械業界の2010年受注額はピーク時の約半分に回復見込み
 - ➔ 自動車メーカーはエコカーを中心に回復基調、ユニットメーカーのグローバル化
- ◆ **競争力ある新製品、高付加価値機種種の市場投入**
 - ➔ 新興国の販売力強化(中国・ブラジル市場の開拓、販売網の構築)
 - ➔ ターンキービジネスの抜本的見直し
- ◆ **事業の更なるスリム化、合理化**



出所:日工会

出所:世界自動車工業会資料よりFUJI作成

出所:中国自動車工業協会資料よりFUJI作成